

柳沢公民館 柳沢1-15-1 ☎042-464-8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp  
 田無公民館 南町5-6-11 ☎042-461-1170 tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp  
 芝久保公民館 芝久保町5-4-48 ☎042-461-9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp

谷戸公民館 谷戸町1-17-2 ☎042-421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp  
 ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 ☎042-424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp  
 保谷駅前公民館 東町3-14-30 ☎042-421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp

## 未来を見つめて

新しい年がスタートしました。これから一年どんな年になるでしょうか。今年最初の公民館だよりでは、未来を見つめて夢を追いかける若者たちの声をお届けします。

### おめでとう新成人 音楽で輝く

高橋莉穂さん(19)は、田無第三中学校の卒業生。中学生のころから所属する「西東京ジュニアオーケストラ」では、週に一度、谷戸公民館を拠点に活動しています。小学生を中心に構成されているオーケストラですが、高橋さんはそこで小学生をサポートしながら、フルートを担当しています。

「大きい楽器は重いので苦手」との理由からフルートを選んだそうです。

西東京ジュニアオーケストラでは、半分団員、半分お手伝いという存在です。「練習ではうまくいかないことが多いけれど、本番でうまくいった時の達成感は格別です。本番の緊張感が好き」と話します。

今月成人式を迎えます。式には、友だちと一緒に参加するのを楽しみにしています。

お父さんはホルン、お母さんはサクソスを演奏する音楽一家で、お母さんのお腹のなかにいるときから音楽に親しんできたといいます。エレクトーンやピアノも得意。幼いころから音楽会に足を運び、そこで見た「フルートのお姉さん」への憧れと

「子どものサポートをしたこともありますが、『あめんぼ』は成人の方が中心で、年齢層が幅広いんです。それぞれが自立していて、自分を積極的に出していることが印象的です。得意な運動を生かして、『あめんぼ』のみなさんと色々なスポーツを楽しみたいです。」

### 成人式まであと一年 いろんな体験を



須永翔太さん(19)は、武蔵野大学人間科学部社会福祉学科の1年生。将来は障がいをもっている子どものケアに携わりたいと考えています。

1年生なので色々なことをやってみようと思っている中で、田無公民館の障がい者青年学級「あめんぼ青年教室」を知り、ボランティアスタッフとして活動を始めました。

「子どものサポートをしたこともありますが、『あめんぼ』は成人の方が中心で、年齢層が幅広いんです。それぞれが自立して



「今のうちに多くの経験をしたい、自分の目で見て、しっかり判断できる大人になりたい。お酒を飲むのも楽しみです。」

### 先輩からのエール わかってきたこと



常田仁太さん(27)は、明保中学校出身。ビル清掃の仕事しながら定時制高校に通い、成人を迎えた当時は舞台俳優としても活動を始めていました。

「ついに成人になったんだなあ」という感慨とともに成人式に参加しました。式の少し後、実家を出て一人暮らしを始めました。感じたのは親のありがたみ。同じ役者である父親は、10代のころ、仁太さんに好き勝手させてくれていました。最近その父親のことを「大きな」と感じるようになりました。同じ道を歩んでいるからこそわかる凄さがあると話します。

今は舞台から映画やテレビに活躍の場を移した仁太さん。清掃の仕事も続けています。

「20歳のころって、友だちといるときが一番楽しいと思う。今年成人のみなも、今の仲間とずっと親しくいられるといいですね。」



### 担当者からの 講座報告

多文化共生講座 (9月17日～10月15日 全5回 田無公民館) つながろう! 多文化社会を「コーディネート」する



多文化共生とは、多様な文化背景を持つ人々が共に生きるということ。講座では、この地域で多文化社会を作るために何が必要か、また受講者自身ができることについて考えました。マレーシア料理を地域の外国人に学ぶ交流の時間もありました。受講者からは「住みやすい街づくりについて考えることは必要」「外国の人と話ができてよかった」などの声がありました。幅広いテーマだけに、受講者それぞれが多様な課題意識をもちました。

### サークル訪問

Blessed Fruit Gospel Choir (以下「ブレフル」)は3年前、代表のひろみさんを中心にディレクターのあみいさんの指導のもと発足した「ゴスペルのサークル」です。ピアノとかけ声に合わせて、生きている喜びを全身に感じ、歌い踊ります。赤ちゃんを抱きながら手振りを入れ歌うメンバーもいます。「ゴスペルは愛の歌です。心を込めて歌えば、自然とメンバー、家族そして全ての人を大切に感じられます。この思いがあるから、忙しいなかでも、活動を続けていけるんです」と結成からのメンバーのつゆこさんは語ります。

そんなブレフルはオブザーバーを含め約20人で毎週金曜日(市内の公民館などで活動しています。レパートリーは50曲程度あり、公民館まつりや市民まつりなど地域の催しに参加しています。ブレフルでは、会員を募集しています。メンバーの多くは20代後半から50代の女性ですが、男性も歓迎です。

http://blessedfruit.blog.fc2.com/

